



青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。



Weekly Report

地区の標語 **原点に帰りロータリーの心を学ぼう**
クラブの標語 **親睦と奉仕でクラブの和を深めよう**



第258回例会報告 (2/14)

(1995年～1996年度第31回例会)

司会 SAA委員会委員 猪股 末男
◎点鐘 会長 萩生田茂夫
◎ロータリーソング ソングリーダー 吉沢 洋平

「手に手つないで」

◎お客様紹介 会長 萩生田茂夫
久嶋 達也様 (東京多摩RC)

◎会務報告 会長 萩生田茂夫

- 会員増強について、年度内にマイナスからプラス1～2にもっていきたいと考えております。
- 3月2日(土)に行われます財団奨学生試験の件ですが、ロータリー財団委員長の吉沢会員には出席の方宜しくお願い申し上げます。
- RI会長の今年のテーマのひとつとしての地域と家族を対象にした奉仕の確認をしたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

◎幹事報告 幹事 橋口 洋三

- 1) 新入会員候補のお知らせです。
2名が新会員として推薦され諸手続きを経て2月14日、本日例会まえの理事会で承認されました。異議のある方は、本日より7日の間(2月20日(火)まで)に文書に

てお申し出下さい。お申し出のない場合は当クラブとしては入会を認めたこととなります。

2) 本日の理事会で新海源四郎会員からの出席義務規定免除願いの届けを承認しました。

3) 2750地区、中村健二郎ガバナーノミニニーより1996～1997年度、ロータリー財団GSE副委員長に、赤尾恭雄会員、青少年交換副委員長に伊神穂会員を推薦、承認のお願いが参っていましたので、本日の理事会で推薦承認しました。

4) 地区青少年交換委員会のからお願いと案内がきています。

①交換学生地区大会参加のお願い

例年通り、地区大会の第2日(3月9日)の本会議の中で交換学生(派遣学生と来日学生)の紹介があるそうですので派遣学生の鈴木さん、小野さん、和気さん、来日学生のメッテ・アルス・オールセンさんの出席よろしくお祈いします。

②来日学生ホストクラブ会議のご案内です。

2月17日(土) 日本青年館で開催します。

◎被選理事会報告 会長エレクト 遠藤 二郎

本日午後6時30分、第一回クラブ被選協議会を開催いたします。各委員長のご出席宜しくお祈いします。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長: 萩生田茂夫 副委員長: 吉尾警太郎 山崎 光一
幹事: 橋口 洋三 委員: 平野行廣・飯島裕美・根本泰寿
会報委員長: 小城 章員 関岡俊二・城倉正博・戸田昭寿
例会場: 多摩そごう7F パンケットルーム

事務局: 東京都多摩市落合1-9-1
多摩センタービル7階
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 委員 内田 茂男

久嶋達也様：久しぶりです。よろしくお願ひします。次年度は会長エレクトです。御指導ご協力のほどよろしく。

萩生田茂夫：お客様ようこそ。

橋口 洋三：小坂会員卓話よろしくお願ひします。

遠藤 立一：陽気がよくなり梅の花が咲いたので。

森田 舞子：先週は誕生祝ありがとうございました。

横倉 讓：クラブ活性化のため新会員の推薦をさらにお願ひいたします。

小城 章員：小坂さん卓話原稿ありがとうございました。

伊澤ケイ子：皆様に心より愛をこめて。チョコレートに替えてニコニコさせていただきます。

本日合計 金15,000円 本年度累計 金799,278円

◎出席報告 出席委員会委員 菊池 敏

会員総数	54名(1名出席免除者)
出席者数	44名
本日出席率	83.02%
1/31出席率	84.91%

■メイクアップ 2名

小林 和夫(2/13 多摩)

奥木 博勝(2/8 田園調布)

■欠席届出者 8名

藤本 吉文 風間 茂穂 小林 和夫

中山 恒武 奥木 博勝 関岡 俊二

新海源四郎 城倉 正博

■欠席者 1名

臼井 博

◎ゴルフ部 伊神 稔

3月19日(火) 3RC合同親睦ゴルフ大会
4月3日(水) お花見ゴルフ大会 } について

◎ロータリー豆知識

ロータリー情報委員会委員長 宮本 誠

定款 第10条 会員身分の存続についての説明

◎ご報告 会員増強委員会委員長 横倉 讓

先般2月1日に、当該年度のR1第2750地区の第2回会員増強委員長会議が霞ヶ関ビルで行われました。報告させていただきます。

上半期の会員増強につきましては、当初、昨年7月1日現在の区部市部総計会員が5,892名でしたが、本年1月26日現在では6,111名ということで純増219名となっています。入会者が419名で、退会者が200名です。入会者については7パーセント増強ということになっていますが、これからは転勤・転居・転籍等の時期を控えていますので、年度末ではマイナスになるのではないかと危惧をもちています。増強状況を見ますと比較的区部は順調ですが、市部は一寸わるいようでした。当クラブマイナス1名を含めまして、0またはマイナスが目立つようです。増強が順調に行われているクラブの状況報告がありました。それなりに委員長さん始め、会員の皆さんが真剣に取り組んでいられるようで、いろいろな方策があるものだと、びっくりすると共に、かなり活動しないと入会は困難であると感じました。当クラブも現在はマイナスですが、まだ当年度は4ヶ月強ありますから、頑張りしたいと思います。方策としてはもう遅いですが特別あてませんが、これから毎例会でニコニコを利用させていただき、皆さんに会員の推薦をしつこく訴えたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

—— ポリオ・プラス計画は今 ——

世界保健の日

～ポリオのない世界を夢みて～

インドでは(中略)

「世界保健の日」の前日、プーナ・コトルドRCは、芝居を通じてポリオ・プラスのメッセージを地元の人たちに伝える街頭演劇を、3カ所で行いました。ロータリアンはまた、ポリオへの免疫が必要であることを、地元の方言マラティ語で強調するのを目的にした公演も行いました。そして「世界保健の日」の当日にロータリアンが開いた保健セミナーは、200人近くの町民が集まりました。このセミナーでは医師が、子供の健康、免疫、そして両親の養育の大切さを説きました。またプーナ・コトルドRCが準備した伝染病をテーマにした展示には、500人ほどの人たちが訪れました。見学者が特に関心を示したのは、生きているポリオ・ウイルスを写した顕微鏡写真でした。この会場ではまた、町民の要望にこたえて、地元の病院のスタッフが、その場で55人の子供たちにポリオ・ワクチンを与えました。

「ロータリーの友」1月号より抜粋

【卓 話】

薬局の現状と問題点

株式会社コサカ 代表取締役 小坂 一郎



まず“町の薬屋さんには三種類ある”ということからお話しましょう。

1つ目は薬局、2つ目は一般販売業、3つ目は薬種商の3つです。

薬種商というのは、薬局とか薬品の販売している所で一定期間販売等を経験し、薬種商の試験に合格した人が薬の販売を行っている所で、地方に行きますと比較的多いものです。当然東京にもあります。

この業種は、限られた薬を販売できるシステムになっています。

次に一般販売業の許可を受けて薬を売る業種ですが、ここには調剤室は無く、薬の販売だけを行うシステムです。〇〇ドラッグ、等と名前をつけている所に多いものです。当然ここには薬剤師さんがいます。薬種商より、売れる薬の範囲も広がって来ます。

次に薬局ですが、ここには調剤室があり、薬剤師が必ずいます。調剤室では何ができるのでしょうか。調剤室という場所は、読んで字の如く、薬を調剤する所ということです。病院の薬局も町の中の薬局も変わりありません。調剤室で薬を調剤し患者さんに薬をお渡しするのです。最近は医薬分業といって、お医者さんが処方箋を患者に渡し、患者はこれを町の薬局に持参して、薬を調剤してもらい受け取る様になって来ました。薬の販売や調剤をする薬局は当然薬を扱う範囲が一番大きいことが判ります。

次に薬剤師についてお話ししましょう。

私も含め私の薬局で働いている従業員はほとんどが、薬剤師です。薬剤師の資格を取るには、薬科大学を卒業し、国家試験に合格した者に与えられる資格です。四年制大学ですが将来は六年制にしようかといったことも話し合われ

ている様です。ただ薬科大学を卒業しただけでは資格がありません。卒業しただけですとただの薬学士となるだけで薬剤師ではありません。

薬局経営上薬剤師でないといけませんので、自分がそうでない場合は薬剤師さんに勤務してもらわなければなりません。

薬局でもさらに処方箋を扱う為には、次に保険薬局の指定を受けなければならないのです。

現在私は6店舗の薬局を持っていますが、このすべてに薬剤師が働いています。そごうの中の薬局を除いた5店舗は保険薬局の指定を受けています。

次に最近の薬をとりまく環境についてお話ししましょう。最近、価格破壊ということが世の中の風潮ですが、医薬の価格も例外ではありません。医薬品は昔から定価販売はあまり無く、1割引とか2割引とかされていました。ですから改めて価格破壊などと言わなくても良かったのです。その値引き率は最近さらに進んだだけでして、ある銀行の調査でも価格破壊の一番ひどいのは医薬品だとも云われています。

この中で生き抜いていくことは大変なことでもあります。仲間同志が集まって、協同組合をつくり、少しでも安く仕入れ大きな店に対抗できる様にしています。大型店は一度に大量仕入れを行って少なく仕入れています。こんな状況でこの業界も厳しさは例外ではありません。

次に規制緩和の話もしてみましよう。規制緩和の中にも医薬品が盛込まれています。つまり、先に出た3つの形態以外の所でも自由に医薬品を売らせろという考えです。スーパーとか、コンビニとか、二十四時間営業の所で売れば消費者サービスになると消費はサービスになるという論です。しかし医薬品の販売に関しては副作用等を考えれば自由勝手に売ればよいという流通だけの問題だけのものでもありません。

今年は、これがどうなるのかといった所に来ています。

次に医薬分業ということをお話してみます。

医薬分業はどんどん進んで来ています。この中で処方箋をもらった経験のある方がいると思います。今や東京では30パーセントの分業率となって来ました。

町の薬局で調剤してもらおう方が増えているのです。私の薬局でも合計すると1500枚から2000枚の処方箋を受けています。薬剤師は薬の相互作用とか副作用とかに眼を光らせていなければいけませんし、患者さんとの相談も充分受け

ていかなければなりません。

特に難しいものがガン患者さんです。最近告知されている方も増えていますが、告知されていない方もいます。こんなとき薬について質問されると対応に大変緊張します。一歩間違えれば治療の妨げになります。私達薬剤師は医師の良きパートナーでなければなりません。そして一方では患者さんのうたえを充分聞いて、それに答えていかなければなりません。

患者さんの中には、何種類かの薬を選び分けて、これは胃がおかしくなるから服まないなんて自分勝手に判断して服薬を中止している方もいます。これでは良い医療を受けているとは云えません。こうした情報も医師の方にフィードバックしていかなければならないと考えています。

薬剤師の仕事は本当に多岐に及んでいます。最近の状況についてお話ししましたが、これからが本題となります。

この様な薬局を経営し、薬剤師である私ですが、どの様な哲学といったら大げさですが、つまり思想をもって薬局経営を行っているかを、お話ししましょう。

その前にもう一つお話ししませんと判に難しい所がありますので、それを先にお話ししましょう。

私達薬局又は薬剤師の組織は、社団法人日本薬剤師会に入っています。そしてその東京都は、東京都だけで、社団法人東京都薬剤師会に所属し、その下部組織として支部に所属しています。多摩市の場合は日野市、多摩市、稲城市の薬剤師会をまとめて、日野支部となります。これがたての流れになります。

ところがこれとは別にもう一つ薬局経営者だけの集団で社団法人を結成していますが、これは、入っている薬局の数は全国で4500店の経営者仲間の会で、呼称は、社団法人日本薬局協励会です。私もこの会員で、多摩市では現在のところ一軒だけです。

この会は多少ロータリーと似た所があります。つまり社団法人ですから、この会の目的は、薬局経営のことや、医薬品のことなどを勉強する集団なのです。そして時には、というより毎年、障害者の為に寄付金を出したり、覚醒剤乱用防止の為に組織にも寄付します。ときには大衆の為に講座などを開催するときがあります。

この会の役員は総て仲間から選ばれた先生方です。ですから選ばれた方々は断ることが出来ません。当然選ばれた方には出ることが多く、大変です。

この会の教えは、即私の薬局の経営理念でもあります。ここにこの会の協励十訓がありますので紹介しましょう。この十訓の中にロータリーの四つの誓いが入っているのではないのでしょうか。

協励十訓は

1. 真実を語り合ひましょう。
2. 素直な心で信じ合ひましょう。
3. 言動に責任をもち常に反省しましょう。
4. グループ会に必ず出席して研究しましょう。
5. 努力と実行を怠らないようにしましょう。
6. 薬局の信頼と品位の向上を心がけましょう。
7. 病む人に希望と安心を与えましょう。
8. 経営を計画的にいたしましょう。
9. 積極的な考えをもって働きましょう。
10. 希望に燃えて強く生きましょう。

の十訓です。会が開催される時は、全員で唱和します。一つ一つ説明する時間がありませんので、ここではかつあいさせていただきます。

最後になりましたが、私の薬局の信念ですが、自分自身に問かける形になってはいますが、五つのことを店の信念としてもっています。

私の信念

1. 自信のある薬を差し上げたか。
2. 本当に親切であったか。
3. 十分に説明して差し上げたか。
4. 満足してかえられたか。
5. 努力に不足はなかったか。

以上の五つを常に考えて薬局経営を行っています。真剣に医薬品販売することこそが、又は真剣に調剤することこそが、私達薬剤師の仕事と考えております。

これからも、立派な皆様方から多くのことを学びさらに充実した薬局とする様にしたいと考えております。

ご清聴ありがとうございました。

(今週の担当：山崎 光一)

2月は「世界理解月間」です。

「世界理解月間」は特別月間として、毎年2月に実施される。同月間中、クラブは、世界平和に不可欠なものとして国際理解と友好、親善を特に強調するプログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されている。なお、2月23日(1905年)は最初のロータリークラブ会合が開かれた創立記念日であり、「世界理解と平和の日」として遵守されている。各クラブはこの日に、ロータリーの国際理解と友情と平和への献身を特に認め、強調しなければならない。